

平成 17 年 3 月 14 日

各 位

株式会社 りそな銀行
株式会社 あおぞら銀行

中堅・中小企業向けバイアウトファンド設立に関する合意について

りそな銀行（社長：野村 正朗）とあおぞら銀行（社長：水上 博和）は、中堅・中小企業をメインターゲットとするバイアウトファンドを設立することで合意いたしました。中堅・中小企業のお客さまの、M & A や事業再編・承継といったニーズにこれまで以上に積極的にお応えするとともに、両行の顧客ネットワークを活かした投資活動を通じて、ミドルマーケットにおける存在感の向上を目指します。異なる銀行グループが共同でバイアウトファンドを立ち上げるのは業界で初めてとなります。

1. 合意の主な内容

- 両社グループのベンチャーキャピタルである、りそなキャピタル株式会社（社長：高橋 洋秀）とあおぞらインベストメント株式会社（社長：鷹簀 一成）は、中堅・中小企業を対象とするバイアウトファンドを組成いたします。
- りそなキャピタルとあおぞらインベストメントは、折半出資により、本ファンドを運営・管理する合弁会社、アライズ・キャピタル・パートナーズ株式会社を設立いたします。

2. ファンドの概要

名 称：アライズ1号投資事業有限責任組合（予定）

設立時期：平成 17 年 3 月下旬（予定）

出 資 金：100 億円程度

出 資 者：りそなグループ、あおぞら銀行グループ 他

当初は両銀行グループにより 80 億円程度の出資とし、その後、地域金融機関等の出資により 100 億円程度の規模を目指します。

3. ファンドの運営方針など

安定したキャッシュフローが見込まれる優良な事業基盤を有し、更なる成長や経営の効率化が期待できる中堅・中小企業（企業価値 10～数 10 億円程度）を主な投資対象とします。具体的には、後継者問題に悩む中堅・中小企業や、親会社からのスピノフ（分離独立）を企図する事業部・子会社等を想定しています。

投資に際しては 33.4%以上の株式を取得することで経営に関与し、投資先の企業価値向上を積極的に支援いたします。また、投資の回収については株式公開や投資先の更なる発展に繋がる事業会社への株式売却等、投資先の経営陣と充分協議し最適な方法を個別に判断してまいります。

両社グループが持つ営業基盤や地域金融機関のネットワークの他、ファンド運営やベンチャー投資等に関するノウハウを結集し、高い投資パフォーマンスを追求します。

4. ファンド運営会社の概要

社 名：アライズ・キャピタル・パートナーズ株式会社（英文名：Arise Capital Partners, Inc.）

所 在：東京都千代田区

設 立：平成 17 年 3 月 7 日

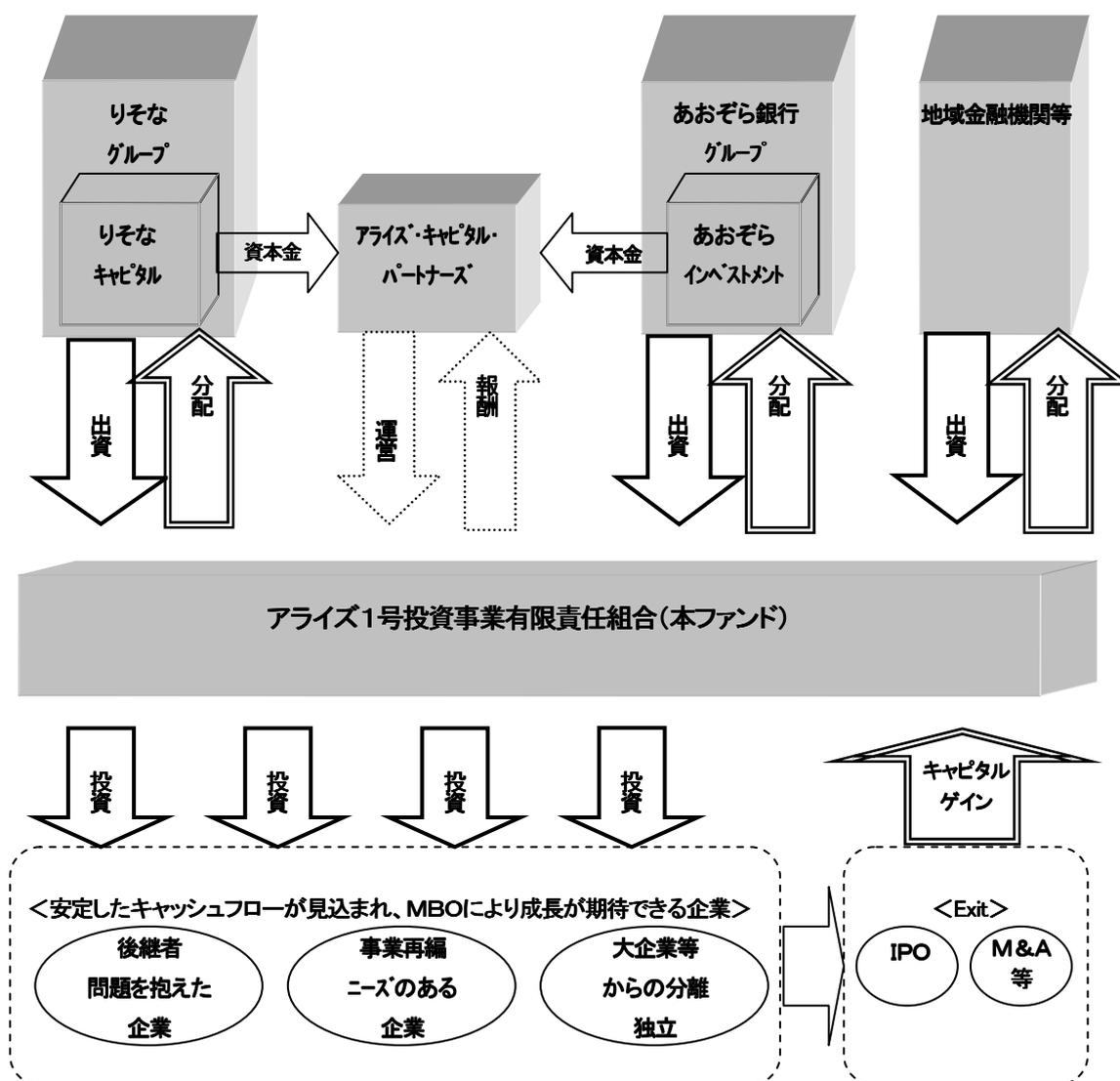
資本金：10 百万円

株 主：りそなキャピタル 50%、あおぞらインベストメント 50%

代表者：代表取締役社長 木内 雅雄（あおぞら銀行から出向）

代表取締役副社長 蓮尾 修一（りそな銀行から出向）

5. ファンドのスキーム



以上

ご参考

アライズ・キャピタル・パートナーズ株式会社の名称について

・Aozora & Resona Investment company for Small & medium(middle-sized) Enterprises

・Arise:「～生じる、～起こる」の意。無から有が生じる意味。

「ミドルセクターを対象とする新たなファンドである」や「ファンドの投資により、投資先企業に新たな価値が生じる」という意味をこめています。